つなぐ

令和5年
7月 21日

NO.1
不定期発行

タイトル決定しました!インクルーシブ教育支援連携部の取り組みや情報提供を行います。内容が盛りだくさんですが、裏面までお読みください。

余暇支援係より

本校の余暇支援は学校を開放して月1,2回程度愛好会活動をしたり、年4回青年教室（同窓会）を開いたりしています。
高等部卒業後にどんな余暇があるのか、在学中（中高生）に参加できる余暇はどんなことがあるのかについて今回の通信では紹介します。

愛好会

愛好会は、月1,2回行われる部活動のような活動です。ミュージ（音楽）、さをり織り、太鼓の文化系活動やペガサス（バレーボール）、サッカー、水泳（活動場所は横浜ラポール）の運動系活動とたくさんの活動があります。愛好会は在校生（中高生）と卒業生が参加することができるので、活動を通して余暇や人間関係の幅を広げることができます。

サッカー、さをり織り、ペガサス（バレーボール）は会員を募集しています。中高生のみなさん、見学をしてみませんか??

サッカー	バレーボール
さをり織り	太鼓

※令和4年度の写真

青年教室

青年教室は年4回行われる同窓会です。1期生から41期生が集まり活動をします。今年度は5月27日（土）と6月25日（日）に総会と青年教室が行われました。

総会ではスマホ教室を開き、現在スマホに関することで困っていることや過去こんなことがあった等、事例の共有をしました。スマホゲームに関する困ったことがあがると「一緒!」という声がたくさんあがりました。「そのときはどうしたの?」と問われると「親に相談した。」とみなさん答えていました。

総会のあと青年教室が開かれました。2か所に分かれてビンゴ大会とお話会を行いました。ビンゴ大会では、スクリーンに映し出された数字を見て、みなさん一喜一憂!「くそぉ!」「数字あった!」「リーチだ!」等といろいろな言葉が飛び交い大盛り上がりでした。お話会（ゆめひろば）は、今自分が抱えている悩みを相談する場です（ゆめひろばに関しては、下記に紹介しています）。

様々な年代の方々と卒業後に青年教室を通して関わり、ゲームをしたりお話をしたりして親睦を深める…!本校ならではですね!!

賛助会員の会「ゆめひろば」

5月、6月の総会で可決された賛助会員の会「ゆめひろば」。7月から本格的に活動をスタートしました。在学中は、進路や人間関係等の悩みがあるとクラスや学部の友だち、先生に相談することができましたが高等部を卒業すると相談する場所がなくなってしまうということから設立されました。月に1,2回程度活動してそれぞれが抱えている悩みを仲間や以前本校で働いていた職員に話しています。また、お話会以外にも築山にある畑を耕したり収穫したりする活動もする予定です。

進路担当より　(吉岡)

～企業保護者見学会　7月5日開催～

第1回保護者対象企業見学会を実施しました。第1回は日本ロレアル(株)の特例子会社「エヌエルオー(株)さいわいファクトリー」です。川崎市幸区にあり、JR 矢向駅から徒歩5分の場所にあります。

主な業務はラベリングシール貼りになります。イヴ・サンローランやシュウウエムラなど、海外から輸入された化粧品サンプルの裏面に製品表示のラベルシールを貼る業務です。それぞれの特性に合わせた作業台で黙々と作業をする姿は、他の特例子会社とはまた違った環境だったかと思います。

今回は少人数の見学会でしたが、次回12月はたくさんの方に参加していただけるように実施する予定です。

～第1回 PTA 進路研修会　7月 11 日開催と
進路のちょっとした話　その2～

PTA 主催の第1回進路研修会を本校集会室で実施しました。講師は私でしたが、たくさんの方にご参加いただき、耳を傾けていただいたこと改めて感謝申し上げます。

今回のテーマは特別支援学校の進路の基礎ということで、リクエストをいただいていた、進路についての流れなど盛りだくさんになってしまいました。

でも特別支援学校の進路ってすごく難しいですよね。
なんで難しいのでしょうか。
それはやっぱり「見えない」からだと思っています。

進路ってどうなって決まるのか。進路先はどこに行けるのか。そんな情報、このネット社会に、全然落ちてないですよね。

だから分かりづらいのだと思っています。なぜなら、私もそうだったので。進路担当になった時、ネットで色々調べました。でも全然情報がありません。結局、自分の足で見に行って、企業や福祉事務所、役所や支援機関、たくさんの人たちと話して、そして卒業生を送り出して。

保護者の方にとって「見えない」こと。それを少しずつ見えるような手助けができればと思います。人それぞれ見えないことは違ってくると思いますので、ぜひ、その見えないことを教員にお話ください。

その中で一緒に進路についてお話ができるような機会をこれからも設定できるように考えていきます。

本校の進路は保護者にとってよく見える。

子どもたちにとってよく見える。

そんな学校づくりをしていければと思います。

コーディネーターより

こんにちは!今年度より特別支援教育コーディネーターをしています清野　千鶴です。

校内でスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し子どもたちの支援を考えたり、校外に出かけて行って地域で子どもたちが活躍できる場所や方法を模索したりしています。このコーナーでは特別支援教育コーディネーターの活動報告などを発信していきます。

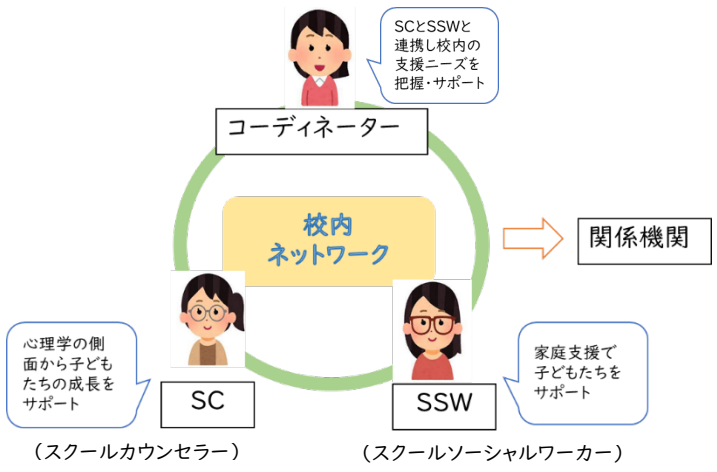
～校内支援体制紹介～

今年度は昨年度よりも回数が多くスクールソーシャルワーカーが本校に配属されており、月 3 回程度本校に巡回に来ていただいています。以前から配属されていたスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカー、特別支援教育コーディネーターで連携し、子どもたちの支援体制について考えています。

本校に巡回に来ている日には、子どもも保護者も直接お話や相談をすることもできます。スクールカウンセラーは子どもを心理学の面から見立て、心の扱い方などの相談について聞くことができる専門家です。

スクールソーシャルワーカーは子どもの家庭のことの相談や外部機関との連携の専門家で学校の知識のある社会福祉士です。子どもたちが将来学校以外の場で社会の中で生活していく上で色々なサポートが受けられることはとても大切なことです。外部の支援機関など悩んだ時の相談はスクールソーシャルワーカーに相談することもできます。

どちらも校内の専門家です。活用したい場合には、担任や特別支援教育コーディネーターにご相談ください。



～居住地交流～

今年度より本校からも児童生徒が自分の居住地の学校に交流に行ける居住地交流が始まります。現在、希望した児童生徒に関して、各校に依頼状を送付し、担当の教員同士で計画を練っているところです。直接交流または間接交流を希望したご家庭には、交流計画作成後、計画表をお渡し予定です。

今年度交流の形態としては 3 種類あります。

・直接交流・・・直接学校に交流に行き活動します。内容については、各校の担当者と相談し、希望する児童生徒の実態に合わせて決めていきます。2 学期以降の実施を考えています。

・間接交流・・・直接学校には行かず、お手紙や作品などの交流をします。これも各校担当者と相談し、詳細について決まり次第交流が始まります。

・お知らせによる周知のみ・・・居住区の学校に本校児童生徒のお名前をお知らせしています。依頼状の送付時に一緒にお知らせをしています。

※初回 1 回目は教員付き添い可、2 回目以降は保護者付き添いをお願いしています。

※小学部 1 年生は 9 月以降に希望票を配付予定です。

今年度からの取り組みである居住地交流ですが、児童生徒が地域に出て活動をする特体連や課外活動などたくさんの選択肢の内の1つです。地域で活動する方法については、小・中・高等部の実態に応じた教育課程の中でも色々な選択肢が他にもあります。地域に出て活動する選択肢を今後も提案して行きますのでご活用ください。